

No.2 と い し さ い く つ あ と 砥石採掘跡



砥石山

砥石採掘場は、風間地区の北山・小姓原・南山・石ホロ山と4か所あり、室町時代から昭和40年代まで採掘されていました。

砥石には、「荒砥・中砥・仕上げ砥」がありますが、風間の砥石は中砥で刃砥ぎに適していました。品質も良く、品評会や博覧会で数々の賞を受賞しました。行商人によって九州や北海道までも売られていたそうです。最盛期には、1日20トン以上も産出し、石工さんも30人余りいたといわれています。

現地までは、楯山駅から歩いて15分、途中には風間薬師如来と山神社があります。

「といし」って何ですか？

今は掘り出されていません。採掘跡は危険なので埋め戻され平地になっているよ。でも、周りに砥石の地層を見ることができるよ。

包丁やかまなどが切れなくなった時に、切れるように砥ぐ石のことだよ。昔は刀剣だけでなく、家事や農業の道具を砥ぐための、大切なものだったんだね。

ここからの眺めはすばらしく、朝日連峰や月山・葉山、年に1度ほどは鳥海山も望むことができるよ。360度の大パノラマ展望の絶景を見ることができる穴場なんだ。

1768年(明和5年)に刊行された『山形石ひろい』の中に最上名物として紅花や青苧などとともに「風間砥石」が明記されているんだよ。

今は砥石は掘り出されていないのですか？